

リスク評価(一次)評価 I で用いた人健康影響のデータ

資料3-1

優先評価 化学物質 の番号	名 称	分解性	有害性 クラス	有害性項目ごとの有害性クラス				一般毒性						生殖発生毒性						変異原性						発がん性		
				一般毒性	生殖発生 毒性	変異原性	発がん性	NO(A)EL等 [mg/kg/day]	試験期間 によるUF (90日未満6 1年未満2)	LO(A)EL採用 によるUF (NO(A)ELの 場合は1)	影響の重大性 に係るUF (エキスパート ジャッジ)	UF 合計	有害性評価値 (O値) [mg/kg/day]	備考	NO(A)EL等 [mg/kg/day]	試験の質 によるUF (1世代 試験は10)	LO(A)EL採用 によるUF (NO(A)ELの 場合は1)	UF 合計	有害性評価値 (O値) [mg/kg/day]	備考	①Ames試験 (遺伝突然 変異試験)	②in vitro ほ乳類染色体 異常試験	③その他 のin vitro 試験	④in vivo 小核試験	⑤その他 のin vivo 試験	備考	発がん性 分類	備考
3	n-ヘキサン	良分解性	4		4												0.26	旧二監(化管 法)								EPA:1(2005)		化管法 由来
5	イソブレン	難分解性	2				2																			産衛学会:2B IARC:2B EU:2 NTP:R		化管法 由来
6	クロロメタン (別名塩化メチル)	難分解性	2	4		2	2				0.4	旧二監(化管 法)												化管法変異原性 クラス1	IARC:3 EPA:D(1986)+ CBD(1996) EU:3		化管法 由来	
8	クロロホルム	難分解性	2			外	2												(-)	(-)					産衛学会:2B IARC:2B EPA:B2(1986)+ L(1999)+NL(1999) EU:3 NTP:R		化管法 由来	
9	ブロモメタン (別名臭化メチル)	難分解性	2	2	2						0.0019	旧二監(化管 法)												化管法変異原性 クラス1	IARC:3 EPA:D(1986)		化管法 由来	
10	クロロエタン	難分解性	2	外		2	2				2.7	旧二監(化管 法)												化管法変異原性 クラス1	IARC:3 EU:3		化管法 由来	
11	1,2-ジクロロエタン	難分解性	2			外	2													弱い(+)	弱い(+)				産衛学会:2B IARC:2B EPA:B2(1986) EU:2 NTP:R		化管法 由来	
14	1,3-ジクロロプロペン (別名D-D)	難分解性	2	2		2	2				0.0008	旧二監(化管 法)												化管法変異原性 クラス1	産衛学会:2B IARC:2B EPA:B2(1986)+ K/L(1996) NTP:R		化管法 由来	
15	メチルアミン	難分解性	2			2																		化管法変異原性 クラス1			化管法 由来	
16	ジメチルアミン (デフォル ト)	難分解性 (デフォル ト)	2	2							0.0024	旧二監(化管 法)															化管法 由来	
17	テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド	良分解性	2	2		外		5	6	10		6000	0.00083							(-)	(-)							
18	ニトロメタン	難分解性	2				2																		産衛学会:2B IARC:2B NTP:R		化管法 由来	
20	1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)	良分解性	2	2		2	2				0.0012	旧二監(化管 法)												化管法変異原性 クラス1	産衛学会:2B IARC:2B EPA:B2(1986) EU:2 NTP:R		化管法 由来	
21	1,2-エポキシブタン	良分解性	2	3			2				0.019	旧二監(化管 法)													産衛学会:2B IARC:2B EU:3		化管法 由来	
22	エピクロヒドリン	良分解性	2	3		2	2				0.0076	旧二監(化管 法)												化管法変異原性 クラス1	産衛学会:2A IARC:2A EPA:B2(1986) EU:2 NTP:R		化管法 由来	
23	エチレンジクロールモノメチルエーテル	良分解性	2		3	2											0.031	旧二監(化管 法)						化管法変異原性 クラス1			化管法 由来	

資料3-1

[illegible]

リスク評価(一次)評価 I で用いた人健康影響のデータ

資料3-1

53	p-ジクロロベンゼン	難分解性	2	3	4	2	2							0.03	旧二監(化管法)	250	1	10	1000	0.25	環境省・化学物質の環境リスク評価							化学法変異原性クラス1	産衛学会:2B IARC:2B EU:3 NTP:R		化学法由来
55	m-フェニレンジアミン	難分解性	2	2										0.0004	旧二監(化管法)														IARC:3		化学法由来
56	o-フェニレンジアミン	難分解性	2	2		2	2							0.0004	旧二監(化管法)												化学法変異原性クラス1	EU:3		化学法由来	
58	o-クロロアニリン	良分解性	2			2																					化学法変異原性クラス1			化学法由来	
59	ニトロベンゼン	良分解性	2	3	3	外	2							0.02	旧二監(化管法)						0.0075	化学法由来	(-)	(-)				有害性評価書(2008)	産衛学会:2B IARC:2B EPA:L(2005) EU:3 NTP:R		化学法由来
60	p-クロロニトロベンゼン	良分解性	2	2		2	2							0.0026	旧二監(化管法)												化学法変異原性クラス1	IARC:3 EU:3		化学法由来	
62	フェノール	良分解性	2			2																					化学法変異原性クラス1	IARC:3 EPA:D(1986)・I(1999)		化学法由来	
65	ピロカテコール (別名カテコール)	良分解性	2			2	2																				化学法変異原性クラス1	産衛学会:2B IARC:2B		化学法由来	
66	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	良分解性	2	2	3		2							0.0024	旧二監(化管法)						0.014	化学法由来							産衛学会:2B IARC:2B EPA:B2(1986) NTP:R		化学法由来
67	テレフタル酸ジメチル	良分解性	2			2																					化学法変異原性クラス1			化学法由来	
68	テレフタル酸	良分解性	2	2										0.000073	旧二監(化管法)																化学法由来
69	1, 2, 4-ベンゼントリカルボン酸1, 2-無水物	良分解性	2	2										0.00016	旧二監(化管法)																化学法由来
70	オクタデシルアミン(N-8)トリフェニルボラン	難分解性	2	2		外		3	6		10	6000		0.0005								(-)	振環性								
74	メチレンビス(4, 1-フェニレン)＝ジイソシアネート	難分解性	2	2		4	2							0.000031	旧二監(化管法)							(-)	(+)	MLA(+)	(-)		EU-RAR, MAK	IARC:3 EPA:D(1986)・CBD(1996) EU:3		化学法由来	
76	ナフタレン	難分解性	2	3			2							0.037	旧二監(化管法)														IARC:2B EPA:C(1986)・CBD(1996) EU:3 NTP:R		化学法由来
78	3, 3'-ジクロロベンジジン	難分解性	2			2	2																強い(+)						産衛学会:2B IARC:2B EPA:B2(1986) EU:2 NTP:R		
79	ビシクロ[2.2.1]ヘプタン-2, 5(又は2, 6)-ジイル＝ジシアニドの混合物	難分解性	2	2		外		1	6	10	10	60000		0.000016								(-)	(-)								
80	1, 4-ジオキサン	難分解性	2				2															(-)							産衛学会:2B IARC:2B EPA:L(2005) EU:3 NTP:R		

資料3-1

81	ホルマリン	難分解性	2	3		2							0.0085	旧二価(化管法)																化管法変異原性クラス1	IARC:3			化管法由来
82	ε-カプロラクタム	良分解性	2			2	外																							化管法変異原性クラス1	IARC:4			化管法由来
83	ポリジメチルフェニルボラン(1/1)	難分解性	2	2			外		1	6			600	0.0017								(-)	(-)											
84	ビス(2-スルフイドピリジン-1-オラト)銅	難分解性	2	2			外		2.5	6			600	0.0041								(-)	(-)											
85	ジカリウム＝ビベラジーン-1,4-ビス(カルボジオアート) ※1	難分解性	2	3	2	2							0.012	ACGIH(2009年版)TLV-TWA 1ppmより換算	25	10	10	10000	0.0025			(+)							化管法変異原性クラス1					
87	4,4'-イソプロピレンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物 (著名ビスフェノールA型エポキシ樹脂) (溶状のものに限る。)	難分解性	2				2 ^{※2}																							化管法変異原性クラス1	IARC:3			化管法由来
90	メタノール	良分解性	2	2			外		2		10		1000	0.002	HPV							(-)	(-)	MLA, mitotiore combinati onassay (inAspergill us(+), MLA, CTA, DNA損傷修復試験、酵母試験(-)	(-)	cytogenicity assays, ショウジョクブミヨシ生体致死的試験(-)	HPV							
91	ジエタノールアミン	良分解性	2	2			外	2	0.4	2			200	0.002	HPV							(-)	(-)	哺乳類細胞突然変異試験(-)	(-)	HPV			ACGIH:A3 IARC:2B					
92	過野酸	良分解性	2	2			外		0.75	2			200	0.0038	HPV							(-)		細胞毒性の濃度でのみ(+)	(-)	UDS陰性	HPV							
93	無水野酸	良分解性	2	2			外		0.56	2			200	0.0028	HPV							(-)			(-)	HPV								
94	アクリル酸	良分解性	3	3			外		4.5	2			200	0.023	HPV							(-)	(+)	HPRT(-), MLA(+)	(-)	HPV			IARC:3					
95	クロロ酢酸ナトリウム	良分解性	2	2					15	2	10	10	20000	0.00075																				
97	ヒドロキシルアミン	難分解性(デフォルト)	2	2				2																						EU:3				
99	N,N-ジメチルプロパン-1,3-ジイルジアミン	難分解性(デフォルト)	3	3			外		50	6			600	0.083	SIDS							(-)			(-)		SIDS							
102	プロパン-2-オール (インプロピルアルコール)	良分解性	4	4			外		33.2	2			200	0.17	ACGIH							(-)		Hprt(-)	(-)	染色体(+)	MOE,FSC,NTP,EHC,SIDS,ACGIH,Patty,PRED SIDS,FSCで陰性と結論			ACGIH:A4 IARC:3				
103	1-オクタノール	良分解性	2				2																						化管法変異原性クラス1					化管法由来
105	エテングリコール	良分解性	3	3			外		1.08	2			200	0.0054	Patty							(-)	(-)	MLA(-)	(-)	DLRL(-)	SIDS,Patty,NTP			ACGIH:A4				
106	プロパン-1,2-ジオール	良分解性	3	3			外		46	1	10		1000	0.046	PRED							(-)	(±)	酵母(+),小核(-)	(-)	Drosophil a(-),マウス急性致死(-)	SIDS,JECFA,NTP,PRED,Patty							
107	2-アミノエタノール	良分解性	2	2			外		8.91	6	10		6000	0.0015	環境省・化学物質の環境リスク評価							(-)	(-)	遺伝子変換(-),SCE(-),形質転換(-)	(-)		NITE環境省,DFG,Patty,NTP							
108	トリエタノールアミン	難分解性	2	2			外		2.65	6	1		600	0.0044	SIDS							(-)	(-)		(-)	DLRL(-)	SIDS,Patty,NTP,Dat			IARC:3				
109	2-ブトキシエタノール	良分解性	2	2			外	2	8.891	2	10		2000	0.0044	環境省・化学物質の環境リスク評価							(±)	(-)	UDS(±),SCE(±),哺乳類細胞変異原(-)	(-)(±)	DNA付加体(-),Fvb/h TGマウス(-)	SIDS,IPCS,IRIS,ACGIH,NTP,CEPA,NCNAS 一部に陰性だが、大勢は陰性。			IARC:3 EPA(2005):NL ACGIH:A3				
110	2-(2-エトキシエトキシ)エタノール	良分解性(類推審議)	3	3			外		11.93	6	1		600	0.02	Patty's Toxicology (9th ed.)							(-)(±)			(-)		SIDS,NTP,JECFA,Patty 一部ambiguousはあるが、大勢は陰性							

資料3-1

[illegible]

リスク評価(一次)評価 I で用いた人健康影響のデータ

資料3-1

[illegible]

リスク評価(一次)評価Ⅰで用いた人健康影響のデータ

156	クレゾール	良分解性	2		2	外									30		10		10	10000	0.003	NITE初期リス ク(未-体)	(-)	(+)	SCE(+) UDS(-)	(-)	SLDL(-), DL(-) SCE(-)	NITE初期リスク	ACGIH A4			
161	アクリル酸重合物のナトリウム塩	難分解性 (デフォルト)	3	3		外		0.05mg/m3 (MAK value)					0.02	DFG														DEG				
162	コールタール	難分解性 (デフォルト)	1					1																						IARC 1 EPA A1(1986) NTP K 産衛 1 EU 1		
163	コールタールピッチ	難分解性 (デフォルト)	1					1																						IARC 1 ACGIH A1 産衛 1 EU 2		

※1 変化物の二酸化炭素の有害性データが優先評価化学物質の指定根拠となっていることから、二酸化炭素の有害性情報を用いて評価Ⅰを実施している。
※2 事業者からの有害性情報の提出により、変異原性については実質的に懸念がないことが示されている。
※3 下線部については、事業者からの情報提供等が認められ、新たな有害性情報を用いて評価Ⅰを実施している。